

今回の検討事項（特に御議論いただきたいこと）

ガイドラインの策定に向けて、主に以下の事項について検討を行う。

【1】教育内容「技能」「知識」「行動・態度」のそれぞれの項目に係る「習得すべき目標」

- ・ライフステージに応じた適切な「習得すべき目標」について

＜案＞ 未就学児

区分	項目	重点	習得すべき目標	参照
知識	信号機の信号等に従う義務	★	信号の意味（「青」は進め、「赤」は止まれ）を理解している	
	徐行すべき場所	★	・身の回りの徐行すべき場所で速度を落として進むことができる ・交差点がどのような場所であるかを理解している	
	指定場所における一時停止	★	・「止まれ」の標識・標示の意味を理解している	
	ヘルメットの着用	★	自転車に乗る際はヘルメットを着用することが習慣化している	

区分	項目	重点	習得すべき目標
行動	交差点等における「止まる」「見る」「確かめる」を習得	★	・「止まる」場所、「見る」方向、「確かめる」対象を具体的に理解している ・交差点に進入するときや道路外の施設や場所から道路に出るときに、「止まる」「見る」「確かめる」を実践している
	他の人がいることの認識及び他の人を思いやる気持ちの醸成	★	・歩道が誰のための道かを理解している ・歩道では、歩行者とぶつからないように周りをよく見て通ることができている ・急に動きを変えるなど、ほかの人の通行の迷惑となる運転をしない

【2】各ライフステージで追加等を検討すべき項目、新たに重点項目に追加すべき項目はあるか

- ・現状を踏まえて、各ライフステージで追加等を検討すべき項目（教育内容）
- ・新たに重点項目に追加すべき項目

【3】その他

- ・教育を行う際のポイントやコラムに追加をすべき内容
- ・ガイドラインの活用方法について
- ・その他全体を通じての意見等

＜例＞補償運転に関するコラム案（高齢者）

「補償運転」とは？

危険を避けるため、運転する時と場所を選択し、運転能力が発揮できるよう心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能の低下を補うような運転方法をとることをいいます。

自身の身体機能等の変化が運転行動にどのような影響を及ぼすか理解し、安全を確保するためにとるべき行動を考え、実践することが重要です。